

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所	三田市立富士小学校	研究グループ名	25
属・職・氏名	主幹教諭 伴 早苗	寺子屋さんだ	

研究テーマ分類番号 (14)

(1) 研究テーマ

事例に学ぶ

～アセスメントとチーム援助～

(2) 研究経過及び具体的な取組

事例検討会

① 6月28日 (土) 午後1時30分～4時

開催場所 三田市立 広野市民センター

参加者 6人

講師 児童精神科医 清水 将之 先生

内容 ネグレクトが疑われる小学生女児の事例について検討する。

成果 児童虐待の事例は、どの養護教諭もかわりを持っており、発見するにいたる状況やその対応についても、たくさんの意見交流が行えた。子どもだけでなく、保護者への対応をとらなければならないので、他機関との連携が重要となる。その中で果たす養護教諭の役割について考えることができた。

講師からは根拠となるべく法律や、虐待が疑われる子どもの出すサインの見方、他の専門機関との連携・協議の進め方などについての具体的な助言を得ることができた。

② 11月29日 (土) 午後1時30分～4時

開催場所 三田市立 広野市民センター

参加者 5人

講師 児童精神科医 清水 将之 先生

内容 起立性調節障害と診断された、保健室登校の中学生の事例について検討する。

成果 小学生の頃から保健室登校をしており、中学校で教室復帰を目指して、養護教諭として行った支援について、意見交換をした。起立性調節障害と睡眠障害の見極めや、医療機関との連携などについての情報交流と、助言を得た。

中学校の保健室は利用者も大変多く、別室登校生徒も複数いる中での、他教諭の理解と協力を得るための校内体制づくりについて学んだ。